平成 28 年度 第 1 回
地方独立行政法人西都児湯医療センター評価委員会 会議要録

- 日 時 平成 29 年 2 月 26 日（日）午後 7 時 00 分～午後 7 時 50 分
- 場 所 西都市コミュニティセンター 3 階（研修室）
- 出席者 黒木正善委員長、落合秀信副委員長、岩本直安委員、黒木隆子委員、
水田祐輔委員、松本英裕委員
- 【市役所】津曲晋也地域医療対策室長、
佐藤武志地域医療対策室室長補佐、
森田 裕地域医療対策室主任主事
- 【医療センター】長田直人理事長、安藤敏和事務局長、
八木 毅事務局次長

■傍聴者 なし

■会議経過

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
※松本英裕委員が委嘱を受け、委員として加わりました。
- 3 市長あいさつ
- 4 委員長あいさつ
- 5 議事

(1) 地方独立行政法人西都児湯医療センター中期目標の一部変更について

発言者	内 容
委員長	議事が 2 件ございます。最初に「地方独立行政法人西都児湯医療センター中期目標の一部変更について」を議題とさせていただきます。 事務局の方から説明をお願いします。
市事務局	一部変更する中期目標ですが、地方独立行政法人西都児湯医療センターの中期目標として、平成 27 年第 4 回西都市議会で議決され、法人設立日の平成 28 年 4 月 1 日に法人側へ指示していたものです。 西都児湯医療センター施設整備基本構想が、今月末までに策定される見込みとなり、次年度から施設整備に向けた具体的事業に着手することを法人側に指示するため、内容の一部を変更しよう

	<p>とするものです。</p> <p>資料の6～7ページをご覧ください。変更内容を「第5のその他業務運営に関する重要事項」のうち、「1病院施設整備に向けた取組み」の本文を「市が策定した『地方独立行政法人西都児湯医療センター施設整備基本構想』を踏まえ、市及び関係機関との連携の下、新病院建設に向けた病院施設整備を計画的に進めること」に変更するものです。</p> <p>なお、変更日につきましては、平成29年4月1日としております。</p>
委員長	ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
委員長	<p>従前は、「必要性を含めた検討」ということでしたが、今回の変更案としましては「新病院建設に向けた施設整備を進める」というふうに具体化し、一歩前進したものと理解しております。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
	「はい」との声
委員長	中期目標の一部変更については、了承したいと思います。

(2) 地方独立行政法人西都児湯医療センター中期計画の一部変更について

発言者	内 容
委員長	<p>次に「地方独立行政法人西都児湯医療センター中期計画の一部変更について」を議題とさせていただきます。</p> <p>説明をお願いいたします。</p>
医療センター	<p>市の中期目標の一部変更を受けまして、中期計画を見直しておりますが、併せて医療のセンターの現状に合わせる形で修正を行っております。</p> <p>資料の14～15ページをご覧ください。「(2)医療安全対策の徹底」のうち、表の「安全管理委員会」を「医療安全委員会」に、「院内感染研修会」を「院内感染対策研修会」とし、現状に合わせる形で変更を行っております。</p> <p>資料の19～20ページをご覧ください。「(3)役割と負担の明確化」のうち、表の医業収支比率と経常損益の平成30年度目標値の見直しを行っております。</p> <p>医業費用と一般管理費に分けていたものを、平成29年度から一般管理費を医業費用に含めたことにより、医業収支比率の目標値</p>

が「100.63%」から「86.28%」に下方修正しております。これは、経営悪化ということではなく、経費を医業費用として計上したことによるもので、今後は同程度の数値で推移していくこととなります。

経常損益については、予算を見直したことにより、経常損益が「124,435千円」から「71,603千円」に下方修正することとなります。この点も経営悪化によるものではなく、当初の見込みが甘かったということであり、再計算を行い、変更しております。

資料の21～22ページをご覧ください。「第5予算」のうち、「1予算」になりますが、収入については、大きくは変わっておりません。支出については、平成29年度から一般管理費を医業費用に含めたことによる予算の変更となります。また、給与費については、当初の予算として毎年の昇給分を見込んでいなかったこと、併せて共済費や社会保険料等の法定福利費を見直したことにより、期間中の総額「1,747,305千円」であったものを「2,028,446千円」に変更しております。

資料の23～24ページをご覧ください。「2収支計画」になりますが、予算の修正に合わせて、収支を再計算し、変更しております。

資料の25～26ページをご覧ください。「3資金計画」になりますが、予算の修正に合わせて変更したのようになります。

資料の28～29ページをご覧ください。「第11 その他西都市の規則で定める業務運営等に関する事項」のうち、「1施設及び設備に関する計画」になりますが、病院建設まで施設整備の見直しを行わないとの方針から、医療機器等の整備・更新で「171,354千円」を「60,000千円」に修正しました。当初の「171,354千円」には電子カルテの購入費が含まれておりますが、リースで対応いたしますのでこの金額から削除しております。

「第12 その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき事項」でございますが、市の中期目標の変更に伴って「また、市において施設整備に関する具体的な構想が策定された場合には、新病院建設に向けた目標を立て、計画的に事業を推進していく。」を加筆いたしました。この計画につきましては、2月に当センター理事会に諮っており、その時点において「西都児湯医療センター施設整備基本構想」が策定されていなかったため、このよ

	うな表現にしております。
委員長	<p>変更点が複数ありますので、順次、ご意見をいただきたいと思 います。</p> <p>まず、資料の 14 ページの「(2)医療安全対策の徹底」でござい ます。これは文言の訂正ということですが、この点についてご意 見等がありましたらお願いします。</p> <p>この点は、よろしいですか。</p>
	「はい」との声
委員長	<p>この点については、この内容で進めさせていただきます。</p> <p>次に、資料の 19 ページの「(3)役割と負担の明確化」のうち、 医業収支比率及び経常損益と、21～26 ページの「第 5 予算」につ いては関連がありますので、合わせてご質問、ご意見をお願いし ます。</p>
委員	<p>説明の中で大きく変更した点は、要するに区分の変更というこ とですよ。医業費用に一般管理費が含まれたという説明だった と思います。予算のうち、支出の営業費用の中に医業費用と一般 管理費がありますが、これを見るとそのまま一般管理費が残って おり、医業費用の中に減価償却費が含まれたということによろし いですか。</p>
医療センタ ー	<p>資料の 21～22 ページをご覧ください。一般管理費が 21 ページ では「119,148 千円」、22 ページでは「46,066 千円」となっており ます。この「46,066 千円」については平成 28 年度の一般管理費で あり、平成 29 年度及び平成 30 年度は医業費用に計上しているこ とになります。</p> <p>原価償却費については、もともと必要な経費として計上してお りましたが、項目を別にして表記した方が良いという考えから、 減価償却費の見直しを行った上での金額を抜き出しております。</p> <p>もう一点、大きく変わって点でございますが、資料の 21 ページ の従前の予算の支出の中で資本支出が 0 円で計上しているものが、 資料の 22 ページの変更後につきまして建設改良費、償還金、その 他資本支出の項目について予算を計上しております。この点につ いては、従前の予算において計上漏れがあったものを改めて予算 として計上したのになります。</p>
委員長	今、建設改良費と償還金についての説明がありましたが、予算

	の内容を説明していただきたい。
医療センター	建設改良費については、施設の工事費等になります。平成 28 年度について言いますと、手術室のエアコンの修繕、火災報知器の修繕など、現施設での工事を見込んでおります。 償還金につきましては、医療機器のリース料がほとんどです。
委員長	リース料は償還金ではなく、経費になるのではないですか。
医療センター	リースの償還につきましては、減価償却費として計上していくこととなりますので、公営企業会計の場合はリース債務として支出として計上することとなります。
委員長	リースでも減価償却を行うことになるということですか。
医療センター	はい。リース会計が入りますので、リース料全てをリース債務として計上して、その予算から支出することになりますが、その項目ではカウントせずに減価償却費に振り替えるという形になります。
委員	所謂、施設改良費で支出したエアコンの修繕、火災報知器の修繕等で、計上されている 64,000 千円になるのでしょうか。何か、もっと大きな金額になるものがあるのでしょうか。
医療センター	エアコンや火災報知器の修繕だけでは、この金額にはなりません。申し訳ありません。この金額については、積算を別の者が行っておりますので、できましたら後日、改めまして回答させていただきたいと思います。
委員	分かりました。
委員長	後日、委員全員に文書での回答をお願いします。 他に意見はありませんか。
委員	一次救急の費用というのは、予算のどこに計上してありますか。
医療センター	資料の 22 ページの変更後の予算で見ますと営業外収益のうち、運営費負担金収益に一次及び二次救急分の負担金が含まれております。 補助金等収益については、共同利用型に係る補助金等が含まれています。また、施設整備基本計画の策定の為の市の負担分、さらに平成 30 年度に予定しております基本設計、実施設計の委託の為の費用も含まれています。
委員	西都市からの補助金についても全て含まれているということでしょうか。

委員長	一次救急分の西都市と児湯郡町村との利用者割での負担金も全部含まれています。
委員	市の補助金は、従前の予算の中ではどの項目に計上されておりますか。
医療センター	資料の21ページの従前の予算でありましたら、営業収益のうち運営費負担金収益、補助金等収益において計上しております。しかし、営業収益として赤字補填分の補助金を計上すると、病院での医業収益と医業費用とを比較する場合に、赤字を補填した形での比率となってしまいますので、決算する場合のことを考えて営業外収益として計上するようにしております。当然、金額としては赤字になりますが、実際の病院の売上げと費用が比較しやすいように変更しております。
委員	この前の西都児湯医療センター施設整備懇話会においても、その点について理解しにくいところがあったので、本当に黒字なのかという話になったと思います。
医療センター	救急医療を行っている限りは、その分は赤字となります。救急医療の費用まで黒字にするというのは難しいと思いますが、予算区分を見直すことによって、救急医療で実際にどの程度の赤字額になるのかという点については見えてくるのではないかと考えております。
委員長	<p>これまでは自治体の単独予算で一次救急分の赤字を補填しておりました。これが、地方独立行政法人になりますと公的な病院としての取扱いになりますので、国の交付金の対象になります。</p> <p>給与費が増えた理由としては、従前の予算の一般管理費に含まれていた給与費を変更後は営業費用の中の給与費に含めたということ、定期昇給分の費用が従前の予算においては計上されていなかったということ、3年間で230,000千円程度の費用が増えたということによろしいですか。</p>
医療センター	従前の予算の一般管理費から営業費用の中の給与費に移行した点もありますが、給与費が増加した大きな要因としては定期昇給分を計上していなかったという点にあります。職員の事を考えれば、定期昇給は実施していくべきという方針でありますので、当然ながら予算に計上しておくべきだと考えております。定期昇給を見込めば、給与だけでなく、賞与や社会保険料も増加すること

	になります。
委員長	3年間で医師を2名、看護師も増やす計画であるが、その費用も含まれているということによろしいですか。
医療センター	変更後の給与については、医師2名、看護師7～9名を増やすことも見込んでおります。
委員長	前に戻りまして、医業収支比率について従前の目標の「100.6%」が「86.28%」と大幅に下方修正されています。通常、100%を下回れば赤字ということになります。全体の経常収支で見れば黒字ではありますが、医業収支比率で見ると、一般的に公的な病院としては、全国のデータからすれば非常に低い数字となっており、全国の公的な病院の医業収支比率の算出方法と異なっているのではないかと思います。医業収入に対する医業支出が医業収支比率ということですが、今回の医業収支比率は医業外支出も含めた数字という理解によろしいですか。
医療センター	医業収支比率の目標である「86.28%」につきましては、平成30年度の医業収支比率の見込み値です。
委員長	見直した結果として、この数字になったということによろしいですか。
医療センター	今回、見直した一般管理費を医業費用に含めたうえで、平成30年度に見込んでいる予算から算出しております。
委員	平成26年度の数値を算出された計算式とは異なるということによろしいですか。
医療センター	はい。
委員	もう一点として、他の公的な病院で医業収支比率を算出する際の計算式と同じなのかという点について伺います。
医療センター	基本的には同じだと思います。ただし、救急の指定を受けている他の公的な病院の医業収支比率と比較した時に、医療センターよりも数値が低い病院は多いです。救急の指定を受けていない病院については分かりません。しかし、救急の指定を受けている地方独立行政法人の病院が60施設程度ありますが、赤字体質の病院を自治体の会計から切り離すことを目的に地方独立行政法人化しているところが多いです。医療センターの場合は、もともと民間が経営していたものを救急医療を維持するために、市の支援を行

	<p>えるようにすることを目的に地方独立行政法人化しており、もともと公立であった病院よりは医業収支比率は高いと思っております。</p>
委員長	<p>厚生労働省が、毎年、自治体病院及びその他の公的病院のデータを公表しておりましたが、平成 15 年を最後に公表しておりません。そのため、昔の資料でしか分かりませんが、黒字と赤字の病院とで数値を公表している。その中で、医業収支比率が「86.28%」は、非常に低い数値です。この点から言えば、完全に赤字の病院だと言えるので、その点から医業収支比率の算出方法が異なるのではないかと思ったところです。ただし、最終的には利益がでているので、経常収支比率で言えば 100%を超えているという分析になるものと思います。</p>
医療センター	<p>先ほどの説明の中で、市からの補助金等は営業外収益に計上していると申し上げましたが、大半の病院は営業収益として計上しておりますので、他の病院の指標を見ると医業収支比率と経常収支比率にさほど変わりません。</p>
委員	<p>その点は、民間病院はそうだと思います。公的な病院だから、その点は分けて考えないといけない。</p>
委員長	<p>以前、従前の中期計画を審議した際には、年度毎の予算も提示していただきました。今回は 3 年間分をまとめた数字となっておりますが、単年度毎の資料はありませんか。</p>
委員	<p>医療センターでは、平成 28 年度、29 年度、30 年度の資料を作成しております。もし、必要であれば後から資料を提出させていただきますと思います。</p>
委員長	<p>医療機器等の整備・更新について、従前では 171,000 千円程度の予算でしたが、変更後については設備に 18,400 千円、医療機器等が 60,000 千円となっており、約 93,000 千円程度の減額となっております。</p> <p>以前は、170,000 千円程度の予算で、年度毎のリース契約の計画があったと思いますが、大幅な減額になり、病院としては困ることはありませんか。</p>
医療センター	<p>従前の 171,000 千円は、電子カルテの購入で約 100,000 千円を見込んでおりましたが、今年度中に契約を結び、平成 29 年度からの稼働を予定しております。平成 29 年度から 5 年間にわたっての</p>

	<p>リース費用を計上することになりますので、総費用 100,000 千円の 5 分の 1 である 20,000 千円を毎年計上することになります。したがって、中期計画の期間においては平成 29 年度、30 年度で合計 40,000 千円となり、従前と比較すると 60,000 千円の減額となります。その他、4 年から 5 年の耐用年数の医療機器についても同様で、総費用を耐用年数で按分したした額で算出しており、期間中の 3 年間で必要な費用を計上していることになります。</p>
委員長	<p>予算を減額したことで不便があるわけではないんですね。</p>
医療センター	<p>必要な全ての医療機器の更新を見込んで算出しております。</p>
委員	<p>今回の中期目標の変更において、新病院建設に向けた病院施設整備を進めることとなっておりますが、以前の説明で今の病院で不備な点はたくさんあると伺っておりました。今後は、新たな医療機器等を整備していくこととなりますが、将来的に新病院で使用できる事を考慮した設備の整備計画になっているんですか。</p>
医療センター	<p>今回、多くの検査機器を入れ替えましたが、全て 4 年から 5 年のリース契約としております。新病院が 5 年後に完成するとすれば、その際にはリース契約期間の満了を迎えます。4 年でリース契約期間の満了を迎える機器につきましては、再リース契約を結ぶことにしており、新病院では新たなリース契約で機器を整備することになりますので、現施設での診療を行いながら、並行して新病院建設を進めることができるように計画しております。</p>
委員長	<p>施設整備基本構想（案）においては、大まかな方針を示しており、備品等の計画については触れておりません。今後の基本計画、基本設計において、設備等についても検討されていくことになるものと思います。</p>
委員	<p>リース契約ということであれば、新病院については新たなリース契約を締結することになるので、現病院の備品を移設する必要がないという考えでよろしいですか。</p>
医療センター	<p>はい。</p>
委員	<p>ハード面に関して、現病院施設の即改修が必要な部分にお金をかけてよいのかどうかと感じたので、質問をさせていただきました。</p>

委員長	<p>予算につきましては、よろしかったでしょうか。</p> <p>次に、資料の 29 ページになります。中期目標の変更に基づく病院施設整備に向けた取組みとして、新病院建設に向けた目標を立て、計画的に事業を推進していくということですが、よろしかったでしょうか。</p>
	—
委員長	<p>全ての審議を終了いたしました。中期計画につきましても原案のとおり了承するということでよろしいでしょうか。</p>
	「はい」との声
委員長	<p>以上で審議を終わります。ありがとうございました。</p>

6 その他

※岩本直安委員から辞任の申し出あり、本評価委員会委員の職を解く旨の報告がありました。

7 閉会